

平群

Heguri

≡ 議会だより
7月臨時会・9月定例会

No.288

令和4年11月1日

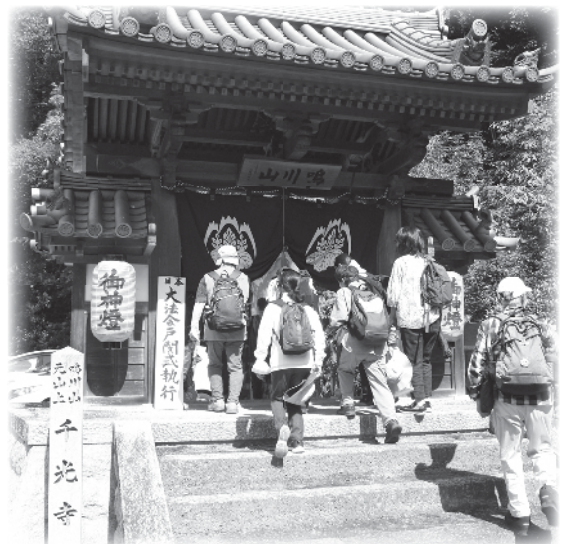
発行:奈良県平群町議会

第4回臨時会(7月)・第5回定例会(9月)

議決結果/質疑あれこれ	…P2~4
決算審査特別委員長報告	…P5~9
町政を問う! 一般質問	…P10~15
町の話題/お知らせ	…P16



『平群町観光ボラ
ンティアガイドの
会』の案内による



千光寺「行者堂戸閉式」

10月第1土曜日(10月1日)に千光寺の戸閉式が行われました

第4回臨時会・第5回定例会

こんなことが決まりました



第4回臨時会が7月11日に開催され、一般会計補正予算が上程され、審議・採決しました。

第5回定例会は9月2日～22日まで21日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の17案件が上程され審議。このうち6件は即決し、昨年度決算認定案件11件は決算審査特別委員会（6日、7日）に付託して審議しました。

一般質問は13・14日に行い、10名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、決算審査特別委員会の審査結果報告をつけて採決を行いました。また、議員発議の意見書2件が上程され、審議・採決しました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	岩崎真滋	長良俊一	井戸太郎	稲月敏子	植田いづみ	山口昌亮	森田勝	山田仁樹	窪和子	馬本隆夫	山本隆史
（町臨時会）	【7月臨時会】 令和4年度平群町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長提出議案	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推せんにつき意見を求めることについて	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
	令和3年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
	令和3年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度平群町下水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出案	子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による拡充等を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	安倍元首相の「国葬」の中止を求める意見書（案）	否決	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	

質疑あれこれ

9月議会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

主な質疑

質問

ついて

育児休業の取得実績に

答弁

過去3年間の実績は令和2年度が8名、3年度が10名、4年度が現時点で6名。全て女性の取得実績であり、男性の取得は平成29年で1名あった。

質問

男性も育児休業が取りやすくなると思うが、その間の業務についてどう対応するのか。

答弁

取得には事前に申出が必要となり、急に休むことはないので、その間に調整したいと考えている。

平群町税条例等の一部改正

①産後パパ育児休の創設（子の出生後8週間以内に4週間まで取得可能）②育児休業の取得回数制限の緩和（取得する期間を分割して2回まで定めて取得可能等）

等）



主な質疑

質問

上場株式等の配当所得等に係る個人住民税の額はどれくらいになるのか。また住宅ローン控除が7%から5%に変わるということだが、その減税額は。

答弁

上場株式等の配当所得の申告者が約343名おられ、そのうち111名が町民税の申告不要を選択され、その方の年税額が1109万8千円であったので、もし申告不要を選択し

なかった場合の年税額が約1145万2千円となり、差額は35万4千円となる。一人当たり約3千円の税額が増えることになる。

ローン控除の実績は4年度課税分で申告者が43件。7%現状で試算すると約410万円、これが改正により5%で試算すると約262万円となり、控除額が約148万円減ることになる。

令和4年度一般会計補正予算（第4号）

国庫補助金では地域介護・福祉空間整備等施設整備費国庫補助金、県補助金ではデジタルバインド対策事業費県補助金、新規就農者経営発展支援事業費県補助金の予算措置を行い、また基金繰入金では平群駅前景観形成事業に係るふるさと基金繰入金、繰越金では3年度決算に伴う前年度繰越金の増額等を行う。

歳出超過分については財政調整基金繰入金の増額により収支の均衡を図り、その結果、3億5345万9千円を追加し、歳入歳出予算総額75億1128万9千円。

主な質疑

質問

繰上償還2億8800万円は何か。

答弁

臨時財政対策債で平成21年の約1億円と平成22年の1億8796万円の2件を繰上償還していく。

質問

この繰上償還により、来年度からの公債費への影響額は。

次頁へ続く

答弁 臨時財政対策債を償還しても交付税は理論算入ということで、引き続き交付される。

また繰上償還の影響額については、5年から11年度まで約3936万円の償還額が減額される。

質問 デジタルデバイス対策支援事業の概要について。

答弁 デジタルデバイスとはインターネットやコンピュータなどの情報通信技術を利用して、その恩恵を受ける人と利用できずに恩恵を受けられない人との間に生じる知識や機会の格差のことで、町がデジタルデバイス解消に向けた対策を検討することを県が支援する事業。

町がパソコン端末を業者からレンタルし、2台を町内の公共施設（プリズムへぐり・総合文化センター）に設置し、また別に2台を個人や団体に貸し出し、自由に使えるようにして、実証実験を行うもので、実証期間は4年10月から5年3月10日の予定。



質問 地域介護福祉空間整備等施設整備の対象事業者は何件か。

答弁 地域密着型のサービス施設となり、町内のグループホームが5施設。また、小規模の多機能共同生活介護施設が1施設で、合計6施設が対象となる。

質問 平群駅前景観形成事業の内容は。

答弁 商工会のほうから駅前の景観形成の一環として、年末年始の賑わいづくりということでイルミネーション設置事業を実施したいとの要望があり、商工会に対して補助金を出して、イルミネーションを実施するもの。ふるさと納税の基金を活用する。

質問 イルミネーションの内容について。

答弁 平群駅前を盛り上げるという観点から実施し、今年度は駅前広場の時計台を中心にしたいと考えている。時期については年末年始の日没から午後10時くらいまでの予定。

質問 新規就農者の経営発展支援事業の内容と対象者について。

答弁 3年度、4年度の国における新規就農者育成総合対策ということで、農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、経営発展のための機械施設等の導入を支援するもの。農業の用に供する設備投資費用の最大75%の補助を行うもので補助対象事業費の上限が1000万円。あわせて、この1000万円の補助事業を活用している者で、1000万円を超える農業の用に供する設備投資費用の最大50%の補助を行うもので、補助対象事業費の上限は200万円。対象は4年度に新たに農業を始める者または親元で就農して5年以内で、かつ4年度に事業を継承する者（ともに就農時49歳以下）で、3名の方が内定している。



質問 子どもスポーツ体力向上事業の概要について。

答弁 昨今の子どもの体力低下の課題に対応するため、幼児期において体を動かす癖をつけ、体力向上の習慣をつけるのが本事業の目的。町内こども園の4・5歳児を対象に、降園後1時間程度、委託による体操教室を開催。定員25名、実施期間は10月から来年1月まで12回の講座を予定している。



令和4年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳出で主なものは、介護報酬改定に伴うシステム改修費と3年度介護給付費の精算に伴う償還金等。

歳入で主なものは、市町村システム改修費国庫補助金、3年度分の介護給付費の精算に伴う国・県からの追加交付金等、介護保険給付費準備基金繰入金、一般会計からの繰入金。

その結果、保険事業勘定では1180万9千円を追加し、歳入歳出予算総額21億2064万5千円。

主な質疑

質問 4年度の総給付費の実績見込みは。

答弁 4力月の実績から年間で積算すると約19億8500万円となり、前年度決算18億8700万円と比較して1億円弱の増と見込んでいる。

☆7月臨時会、9月定例会初日の議案審議の詳細は、下記のQRコードから、議会中継にてご覧になれます。



7月臨時会



9月定例会(初日)

令和3年度 各会計 決算審査特別委員長報告

一般会計

《歳出全般》

質問 一般財源の不用額4億5千万円を精査しているか。

答弁 交付税の増や財政健全化事項の取組による財政調整基金2億4400万円を除くと一般財源の不用額は約2億円で元年度や2年度と変わらない。3年度は職員給与で多額の不用額が出た。

質問 ふるさと納税の寄附額が過去最高となった。今後どのように増やそうと考えているか。

答弁 インターネットサイトを利用してPR活動に注力し、生産者から直接発送する体制づくりをして件数を伸ばしていきたい。

《議会費・総務費》

質問 町内の防犯カメラ設置数は。

答弁 3年度に1基設置し、総数は15基。不法投棄が多いので山間部を中心に考えているが、市街地にも設置箇所を検討していきたい。

質問 防災備蓄品は役場、北部支所、総合スポーツセンターをメインに分散管理しているが、役場は古く、北部支所は道がループ状で地震があつた際に使えない可能性がある。メイン場所の変更や広く分散備蓄しては。

答弁 メイン備蓄場所や分散備蓄9か所の備蓄量の増等を含めて見直し、安全確保に努めている。

質問 マイナンバーカード交付件数と普及率、これまでの取組は。

答弁 8月末で交付件数8421件、普及率45%。予約制で休日窓口を開設していたが、マイナンバー第2弾のキャンペーンに合わせてチラシの配布、出張申請受付、時間外窓口の開設を行った。

質問 地元業者育成の観点から指名業者数を変更し、町内B級業者にA級を目指してもらえような入札制度にすべきでは。

答弁 価格の妥当性を見極めるために5社という基準を設けているが、他自治体の状況も調査研究し、検討を重ねていきたい。

《民生費》

質問 コロナ禍における生活困窮状態にある子育て世帯の支援対象児見守り強化事業の評価は。

答弁 生活福祉資金や自立支援資金の貸与、生活保護の申請等直接的な支援や、精神的な疾患のある保護者には定期的な電話、見守り物資のお届けにより信頼関係を構築し、子どもを含めた見守り活動を行っている。社会福祉協議会協力のもと、子育て支援として継続できるよう検討している。

質問 町外保育委託料は不用額800万円。3年4月時点の待

機児童13人は減ったのか。

答弁 町で多く受入れでき、町外保育は1歳児1人、3歳児2人、5歳児1人の4人で、年齢が上がると委託料も少なくなるので不用額が大きくなった。

《衛生費・労働費》

質問 不妊・不育治療補助金132万6260円。2年度より50万円近く増額の理由と実績は。

答弁 所得制限の撤廃、1年以上の居住歴解除など対象者拡充により申請が増えた。30件助成し、10人から妊娠の届出があつた。

質問 有価物集団回収助成金が減ってきている。地球環境のためにも再生可能なものは有価物集団回収に出し、焼却ごみを減らす意識を持つってもらう施策は。

答弁 ごみ分別を徹底していただけるよう啓発し、生ごみの堆肥化は新たな方法での啓発、普及に努めたい。有価物集団回収はインセンティブをつけるような検討もしたが、現実には至つておらず、助成金額と回収量との関係を二度検討したい。

《農林水産業費・商工費・土木費》

質問 6次産業化を目指して特産品開発事業を20年近く取組んでいるが、雇用を確保できるような加工場が町内にできていない。地場産業の活性化に繋がるビジョンは。

答弁 民間等と協力しての商品開発がうまくいっている部分があるが、6次産業化をさらに進めていくにはどうしたらいいのか今後の検討課題である。

質問 空き家バンクで7件契約成立があつた取り組みは。

答弁 大手不動産サイトと連携して町のホームページとリンクさせた。今後は不動産業者とも情報連携していきたい。

次頁へ続く



《消防費・教育費》

質問 消防団に新たに4人入団された経緯は。

答弁 3年11月広報にて町在住または在勤、健康な18歳以上の方で性別は問わないと募集した。団員の勧誘方法は団長・各分団長と協議していきたい。



質問 小・中学校の老朽化の現状と今後の大規模改造事業は。

答弁 中学校、北小学校の雨漏り、その他施設の設備の老朽化が非常に顕著になっている。長寿化計画策定の中で改修すべき部分がつかめたことから、今後町財政や国の補助金等を勘案し、改修を実施していきたい。

質問 小・中学校に3年度から1人1台タブレットを配付されているが、特に中学校でのICT教育がなかなか進んでいないという声もある。支援員や先生の支援体制を充実すべきでは。

答弁 学校にはICTに特化したエバンジェリストという指導教員を複数名配置し、全教職員を対象にした研修会を行い、体制の強化を図っている。エバンジェリストによるオンラインでの指導も組み合わせながら、支援体制の充実に努めている。



《災害復旧費・公債費・予備費》

質問 今後の新規発行起債は。

答弁 緊急財政健全化計画の期間は臨時財政対策債を除く通常の起債は1億5千万円が上限。6年、7年も一定額しか発行しない見込み。健全化期間が過ぎ

る8年度以降は維持補修関連の経費が生じ、発行額は一定見ている。

《歳入全般》

質問 町税収入は減少傾向が止まらない。特に個人住民税の落ち込みが大きいのは現役世代の減少が要因と考えるが、2年度から約5394万円減っているのは。

答弁 全般的に所得割が減少傾向で、高額所得者トップ30で約1600万円減少したため。

質問 町税の滞納が減少した。努力していることは。

答弁 国税OBで滞納に対する高い技術を持っておられる県税職員の派遣を受け、力を借りて教えも乞った中で滞納整理の技術を向上させた。



令和3年度 一般会計・特別会計決算

(単位：円)

会計区分		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越す財源	実質収支額
一般会計		8,359,533,566	7,910,042,855	449,490,711	49,483,000	400,007,711
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	14,781,918	2,483,965	12,297,953	—	12,297,953
	国民健康保険	2,510,365,827	2,318,659,268	191,706,559	—	191,706,559
	農業集落排水事業	33,680,750	33,680,750	0	—	0
	学校給食費	61,198,269	61,148,623	49,646	—	49,646
	介護保険（保険事業勘定）	1,981,474,983	1,981,474,983	0	—	0
	奨学資金貸付事業	18,000	18,000	0	—	0
	後期高齢者医療	445,433,587	444,630,087	803,500	—	803,500
	用地先行取得事業	13,455,461	13,455,461	0	—	0

反対討論

3億円近い公債費を繰上償還しながら剰余金を1億9300万円増やしたこと、後年度の公債費負担を軽減したこと、当初予算を総額67億3千万円の緊縮予算で出発したことは、賢明な措置だったが、本予算は昨年2月に策定した緊急財政健全化計画に基づくもので、住民の暮らし応援に逆行し、今後のまちづくりにとってマイナスだと考える。一定評価すべき施策もあるが、住んでよかったと言えるまちづくりビジョンがほとんど見えないことから、決算の認定には反対する。

賛成討論

住民生活に直結した施策は確実に実行された。実質収支が4億円の黒字、単年度収支が1億9335万円の黒字、実質単年度収支が5億9478万円の黒字となった要因は、主に地方交付税等の増加によるもの。今後自主財源の確保に取り組まねばならないが、ふるさと納税額が過去最高となったこと等は高く評価すべき。将来負担比率を

前年度より39・5%減少できたが、厳しい現状であることは間違いない、知恵を働かせて難局を乗り越えていただきたい。

また、約15年間で費やして完成した駅周辺整備事業に係る保留地処分の損失補償1億1393万円を執行し、総合文化センターはコロナ禍の中で利用者が2年度より約1万人増えた。早期集中プラン、中期対応プラン、緊急財政健全化計画を策定され、住民負担増や制度廃止等はあるが、管理職の給与カットを実施し、税専門職員の配置や償却資産の課税強化を行い、税収入が増となった。厳しい財政運営が続くと予想されるので、より一層緊急財政健全化計画に取り組みまれるようお願いして決算の認定には賛成する。

住宅新築資金等貸付事業特別会計

質問 現時点の滞納が7556万8千円、3年度の滞納分の収入が522万7千円。完済まで最長で何年かかるのか。

答弁 毎月の返済額が低い方は100年程度かかる。

質問 要件を満たせば不納欠損額の4分の3が補助される制度がある。過去の適用件数と今後その対応ができるのか。

答弁 適用件数は改修資金2件、宅地取得資金7件、新築資金7件の合計16件。今後も個別の案件を精査し、適用可能であれば補助金を受けていきたい。

国民健康保険特別会計

質問 この4年で2回税率を引き下げたことは評価するが、過去に一気に1・6倍の増税をしたことから考えると整合性がとれていない。住民との関係で国保会計をどのように考えているか。

答弁 医療費がどんどん上がって、29年度は大きな増税となった。剰余金還元で4年度の減税で、納付金支払いに必要となる税とほぼ変わらない状況。医療費が上がっており、納付金も上がることが予想され、大きく減税すると6年度の県統一になったときに増税が大きくなるので避けた。

水道業務実績

	単位	令和3年度	令和2年度	比較
給水件数	件	8,145	8,101	44
年間総配水量	m ³	2,282,271	2,224,688	57,583
年間有収水量	m ³	1,882,046	1,907,910	△25,864
有収率	%	82.4	85.7	△3.3

※有収率…料金収入を得た割合(年間有収水量/年間総配水量×100)

水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

		令和3年度	令和2年度	差引
収益的収支	収入	491,846,886	509,557,308	△17,710,422
	支出	492,155,509	510,780,567	△18,625,058
	差引	△308,623	△1,223,259	914,636
資本的収支	収入	8,230,000	16,780,000	△8,550,000
	支出	36,153,516	54,509,506	△18,355,990
	差引	△27,923,516	△37,729,506	9,805,990

下水道業務実績

	単位	令和3年度	令和2年度	比較
処理区域面積	ha	193.49	184.65	8.84
行政区域内人口	人	18,561	18,657	△96
処理区域内人口	人	10,682	10,206	476
普及率	%	57.6	54.7	2.9
水洗化人口	人	10,034	9,581	453
水洗化率	%	93.9	93.9	0.0
年間有収水量	m ³	1,055,660	1,069,461	△13,801

※普及率…(処理区域内人口/行政区域内人口×100)
※水洗化率…(水洗化人口/処理区域内人口×100)

下水道決算状況(税込)

(△はマイナス、単位:円)

		令和3年度	令和2年度	差引
収益的収支	収入	448,766,937	454,131,159	△5,364,222
	支出	384,142,449	390,542,828	△6,400,379
	差引	64,624,488	63,588,331	1,036,157
資本的収支	収入	127,177,100	105,504,750	21,672,350
	支出	248,680,940	221,186,792	27,494,148
	差引	△121,503,840	△115,682,042	△5,821,798

質問 3年度の収納率と、県から示される納付額は収納率99%として計算されているが、99%に届かなかった場合は、

答弁 収納率は3年度97.77%。収納率99%は分母に現年調定額、分子に滞納分の収納額も含めた現年収納額で計算するので、今は納付金を払える状態。収納率が落ちて払えなくなった場合は剰余金があれば活用できるが、なければ県から借入れすることになる。

質問 県の貸付額の返済は、

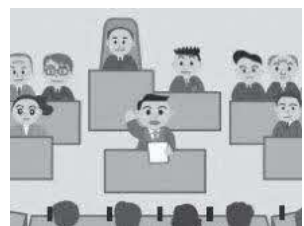
答弁 翌々年度以降に税率を引き上げて、その金額を確保することになると聞いている。

反対討論

県の納付金以上の税徴収になつており、昨年6月議会で総額3千万円の国保税引下げを提出したが否決、町長もコロナ禍による所得状況や医療費の動向などを検証したいと引下げを先送りする姿勢に終始した。その結果、実質単年度収支は6千万円以上の赤字となり、剰余金も2億2千万円残ったことは明白で、決算の認定には反対する。

賛成討論

県の方針では剰余金がなければ歳入不足の場合は次年度以降に上乘せの税率となり、町単独の保健事業もできなくなること考えられる。安定的な財政運営を固持し、県が目指す負担の公平性の観点から、同じ所得、世帯構成であれば保険料水準が同じという制度の実現を祈念して、決算には賛成する。



農業集落排水事業特別会計

質問 使用料収入以上に施設の老朽化に伴う修繕費の増加がある。検討していることは、

答弁 供用開始から14年経過し、機器類の耐用年数が約25年で、今後ますます維持管理経費がかかる。下水道編入の試算額は約2億2千万円で、その他の

方法はないか今後検討すべきと考える。

学校給食費特別会計

質問 食材の値上がりで保護者に負担をかけないよう地方創生臨時交付金を活用するということがあったが、現在も物価高騰により食材が値上がりしている。今後給食費を上げる見込みはあるか。

答弁 メニユーの工夫等により対応したいが、多数の市町村で共同調達の食材の場合、給食費に影響が出る可能性がある。できるだけ保護者の負担にならないように努力する。

介護保険特別会計

質問 3年度は、計画では新たに65歳になる人よりも亡くなる人が多いとして被保険者数7066人に減ることになっていたが、実際は7129人に増えている。認定率の状況は、

答弁 介護認定者数の影響が大きく、3年10月1日現在1287人、4年7月末現在136

議会の動き

議会運営委員会

※令和4年平群町議会第5回定例会の議会運営について

8月22日

総務建設委員会

※執行後における政策評価について

8月29日

文教厚生委員会

※執行後における政策評価について

8月29日

全員協議会

※新西和医療センター整備基本構想について
※ウォーターパークの修繕費について

9月 7日

7人で80人増えており、今後増加することを考えている。

後期高齢者医療特別会計

質問 人間ドックとして保健事業費260万1800円執行された内容は、

答弁 人間ドック112件、がんドック4件、脳ドック13件の計129件。病気の早期発見、早期治療のため、人間ドックや

検診は大事だと考えている。

質問 人間ドックは以前から国保でも丁寧に実施し、後期高齢者も広域連合から費用を出していたが継続しているが、財源的に継続できるのか。



答弁 健康診査を広域連合から委託されており、みなし健診として人間ドックに一部助成があるが、保険料からカバーするのは難しい状況なので、一般会計から繰入れして財源確保に努めたい。

水道事業会計

質問 町の水道があつた時は有収率が90%を切ることは考えられなかった。管から相当漏れていることになるが、対策は。

答弁 3年度は大規模漏水が数か所発生したことが原因で、老朽管の更新工事等が対策になるが、県域水道一体化になると更新が進むと思われるので、それまでは維持管理に力を入れていきたい。



質問 営業外収益が4千万円近く減っている原因は。

答弁 2年度にコロナ対策で基本料金を減免したことにより全世帯3か月分の給水収益を減額補正し、営業外収益で他会計補助金としてコロナの交付金から繰入れし、営業収益に基本料金分の2600万円強を振替したことから、2年度よりも新築住宅が少なかったことにより給水工事負担金が減ったことによるもの。

下水道事業会計

質問 公共下水道接続の現状は。

答弁 緑ヶ丘が4年度末に1か所、5年度末に1か所接続予定で、三郷町管理の北信貴ヶ丘が残る状況。今の計画は7年度で終わるので、新たに計画を見直す時期になっており、下水道に代わるものとして合併処理浄化槽の普及も計画に盛り込むよう考えている。

質問 本管や分岐の工事が必要となれば多額の費用を要する。特別会計では起債の償還は一般

会計から繰入れしていたが、企業会計での会計処理は。

答弁 普及率が90%以上にならないと使用料や手数料収入等の営業収益の面で公営企業としては成り立たないので、現在の普及率57・6%ではかなり難しく、一般会計から繰り入れて下水道を普及していきたい。

奨学資金貸付事業特別会計

用地先行取得事業特別会計

以上、11件の一般会計・特別会計・事業会計については認定することに決しました。

決算審査特別委員会

委員長 長良 俊一



平群町業務継続計画（BCP）に基づく

防災訓練を行いました

令和4年9月20日、大規模自然災害が発生したときに必要とされる備蓄品の保管及び防災無線の基地局と設置場所の確認を行いました。

平群町議会BCPが令和2年5月に策定され、3回目の防災訓練となりましたが、もしもの時に備え、危機意識を高める観点から、大変有意義な訓練となりました。



防災無線基地局



総合スポーツセンター防災倉庫



役場前防災備蓄倉庫

町政を問う！ 一般質問一覧

岩崎議員	1. 住民生活や地域経済を支える対策について 2. 町の空き家について 3. 道の駅のトイレについて
馬本議員	1. デマンドタクシー運行状況と今後の取組について 2. (仮称) 矢田山に東西線道路建設を 3. 早急に新庁舎建設計画を 4. 総合スポーツセンターグラウンドを人工芝化に 5. 町有地のコミブラについて
植田議員	1. 生理用品の設置でトイレ環境の整備を 2. リサイクル用（カン・ビン）コンテナとカゴ型の交換・選択が出来るように 3. 高齢者のインフルエンザ予防接種の自己負担軽減を
窪 議員	1. 子ども医療費助成の窓口無料化（現物給付）を18歳までに拡充を 2. 平群中学校等の早急な老朽化対策について 3. 災害時の避難所対策について
長良議員	1. 学び、子ども達を支える 2. ごみ減量化・リサイクル推進について 3. 広報広聴事業について 4. これからのまちづくり
井戸議員	1. 雑草対策について新たな方法を
森田議員	1. 起債（借金）の繰り上げ返済について 2. 税等の滞納の徴収強化について 3. 普通財産を積極的に売却すべき
山田議員	1. 平群町道、重点整備3路線の進捗状況について 2. 償却資産税の課税強化について
稲月議員	1. 平和啓発事業の充実を 2. 町役場庁庭の整備を 3. 男性トイレにサニタリーボックスの設置を
山口議員	1. 櫛原山林のメガソーラー開発について 2. 虚偽説明で廃止を決めたウォーターパークは存続を

人権擁護委員候補者の推薦

五十川 史一 氏

住所 平群町福貴畑



野口 智恵子 氏

住所 平群町福貴畑



五十川史一氏、野口智恵子氏は適任であるとの意見で答申することに決しました。

議員提出議案

子ども医療費助成制度に係る現物給付方式による拡充等を求める意見書(案)

(原案可決)

提出者 窪 和子

賛成者 長良 俊一

安倍元首相の「国葬」の中止を求める意見書(案)

(否決)

提出者 植田 いずみ

賛成者 稲月 敏子

山口 昌亮

町の空き家について



岩崎 真滋



質問

「平群町空き家等の適正管理に関する条例」により、管理が不十分となっている空き家等について、その所有者等へ適正管理を促し、住民の良好な住環境の確保に努められていることは承知していますが、隣の敷地に雑草や害虫が入り込むなど、なかなか進まない物件もあると思います。



答弁

住宅地の通常空き家について、何か新たな施策などがあればお聞かせください。

町で実施しています空き家実態調査の結果を基に、所有者等の管理者に対して適正に管理するよう現状写真を添付して行政指導の通知を行っております。

また、遠方からでも剪定・除草作業の依頼ができるシルバー人材センターのチラシや、ふるさと納税の返礼品として選択できるシルバー人材センターによる「空き家見守り制度」のチラシも同封するなど適正管理を促しています。加えて、空き家バンク制度の通知も行っています。

防災・防犯・衛生・景観など住民の生活環境を保全する観点から、対応マニュアル作成について調査研究をしているところであります。

早急に新庁舎建設計画を



馬本 隆夫



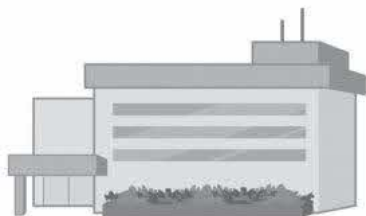
質問

本庁舎は昭和30年代に建て替えられ、その後西庁舎、南庁舎が増築されております。特に本庁舎の老朽化が著しく、耐震性を欠くことで震災発生時には防災拠点としての役割を果たせないことが危惧され、職員、住民の生命、財産を保護できない課題を抱えています。

総合文化センター西隣に新庁舎建設用地買収、財源として「公共用地先

行取得債」を発行、制度上は令和10年度以内に事業化をしなければならぬ。

残り6年間のスケジュールはどのように考えておられますか。



答弁

工事着工までには、通常工程として「基本構想・基本計画・実施設計」などがあり、なかでも住民や議会のご意見などを協議する期間や、入札事務などを含んでも3〜4年くらい要するものと考えます。逆算すると遅くとも令和6年度ぐらいから取り組んでまいりたいと考えておりましたが、現状の庁舎は耐震化、バリアフリー等が出来ておらず、又災害時に防災拠点としての機能が出来ない可能性があり早急に「基本構想」に取り組んで参ります。

コンテナ(カン・ビン)と カゴ型の交換・選択



植田 いずみ



質問

ごみ減量とリサイクルの促進の一環としてカン・ビンのコンテナ回収(H10年4月)がスタートした。高齢者にコンテナ(2kg)は重く、軽いレジカゴ型(500g)の物が必要だと質問をしてきた。その後、カゴ型も作られ(H10年12月)希望する高齢者世帯はコンテナと交換できるようになり喜ばれていた。

最近コンテナの交換に行った方が、75歳以上の高齢者世帯に限ると断られた。少なくとも65歳以上の希望者には交換すべきで、転入者にはコンテナかレジカゴ型の選択を。

また市販のカゴでも回収してくれることを知ら



当初は年齢等の基準は設けておらず高齢者虚弱者世帯の方々を交換対象としてきた。今後コンテナからカゴ型への交換対象者の条件の見直しを検討したい。転入者に関しては、基本コンテナを貸与し、75歳以上の世帯はコンテナかカゴ型の選択をしてもいい。

また、町のコンテナやカゴ以外でも回収に応じており、しっかり住民に周知していきたい。

答弁

ない住民は多い。広報やホームページ、閲覧板等、住民にしっかり周知すべきではないか。

質問

7年前に平群町は「子ども医療費助成を病院・入院とも18歳まで完全無料化」を実施し、県内でも突出した子育て支援をしてきました。

また令和元年8月から、国の施策により県は未就学児を窓口無料化に見直しましたが、さらに子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、「窓口無



料化(現物給付方式)の対象年齢を一日も早く小学生から18歳までに拡充が必要」と、何度も議会質問をしてまいりましたが、本町の考えをお伺いします。



窪 和子



答弁

未就学児までの窓口無料化導入で、医療費の増加は見られません。

本町としては、保護者の子育てに係る経済的負担の軽減や、子どもの保健の向上を図り、安心して子育てができる環境を充実させるために窓口負担をなくす、現物給付方式を行うことは、子育て世帯の支援として、重要な施策であると考えます。本町単独の実施には課題があるが、県内市町村で子ども医療費の窓口無料化が、早期実現できるように、平群町が先頭に立つて取り組んでまいります。

子ども医療費の窓口無料化を 18歳までに拡充

広報広聴事業について



長良 俊一



質問

本町のホームページは、令和3年3月に全面リニューアルし、アクセス数も増え、役割を果たしていると思います。

携帯電話・タブレットは、大人から子供まで持ち歩く時代になり、どこからでも情報を集めることのできるツールとなりました。これからのサイト運営の展望をお聞かせください。



答弁

本町の公式ホームページは、「緊急情報」への掲載以外は、業者に委託していましたが、リニューアルにより、掲載までリアルタイムで即日発信が可能となりました。

また、スマホやタブレットを活用し、情報収集される方が増加しており、掲載内容の充実やSNSなどの媒体を活用していく必要性を感じているところです。

今後の「サイト運営の展望」については、行政情報を迅速に伝えることは当然として、まちの話題についてもSNSを活用し情報発信に努めたいと考えております。

また、SNSは、行政と住民生活をつなぐ有効なツールとなることから、LINEやフェイスブックの登録数を増やす取り組みを推進して参りたいと考えております。

雑草対策について

新たな方法を



井戸 太郎



質問

平群町は、田園都市を掲げ、自然豊かな街づくりを目指している。しかし、これはメリットばかりではない。草刈り等のメンテナンス量が多くなり、それによる住民の苦情、しいては財政を圧迫している。田園が豊富であれば、河川が多くなる。河川近くには、膨大な量の草が生えている。古の歴史をもつ竜田川。平群町の宝物。

しかし、竜田川沿いは雑草で道路を塞いでいる。

また、公園のメンテナンスも大変である。潤沢に予算と人員があれば問題ないのかも知れないが、現状として充分にできておらず、住民の方から苦情が相次いでいる。

実際に、草の伸びる時期は、道路沿いの剪定が間に合っておらず、車を運転していると中央線を越えてまで草を避けなければならぬ場所も多くある。雑草が伸びない土や面を開発する等して、本格的な対策をすべきだと考えるがいかがか。

答弁

町は約94000㎡もの土地の草刈りをする必要がある。また、その他に地元自治会の協力のもと年数回の草刈りをしていただいております。議員の提案も踏まえて、様々な研究をしていきたい。



税等の滞納の 徴収強化について



森田 勝



質問

平成24年度の町の不能欠損は約1700万円、滞納は約2億9000万円だったものが、10年後の令和3年度の不能欠損は約100万円、滞納は1億9000万円となり、不能欠損が約1600万円、滞納で約1億減り大幅に改善している。

一方、町営住宅・改良住宅家賃等の滞納は逆に約1100万円増えている。また令和3年度決算だけを見ると収入済は1665万円、滞納は2768万円と収入より滞納の方が1100万円多いのは理解し難い。

そして、住宅新築資金貸付金の滞納は10年前に比べて約5625万円減っているが、滞納約7557万

答并

円は決して少ない額ではない。また、水道・下水道使用料も滞納が増えている。そこで、①滞納の実態②不能欠損処理基準③滞納の徴収、の3点を質問する。

- ① 町の重要な収入源となっており、税使用料を確保する事は極めて重要と考えている。
- ② 法律に則り不能欠損を処理している。
- ③ 町税の滞納については、催告状の送付等により、自主納付による滞納の解消に向けた取り組みを進めている。



償却資産税の 課税強化について



山田 仁樹



質問

いると聞いています。

償却資産税は固定資産

②『認識・知識もなかった。もっと周知を』という意見もあるが？

課税標準額150万円
未満で免税ですが10万円
以上は申告が必要。

③全事業者数、及び指導
型課税に至る調査件数並
びに割合は？

④課税される住民と指摘
を見過ごされる住民が存
在している現状に対し『不
公平感が否めない』とい
う意見があるが、どのよ

これまで強制的課税は行なっていなかったが、現在指導的課税が行われて

答并

①国・県の指導もあり、令和3年度より実施。

②周知は重要。コロナ禍の中で説明会ができなかった。様々な方法で幅広く周知を図りたい。

③全事業者749件、調査完了件数は約400件で約53%。

④令和5年に全事業者の調査を完了したい。



平和啓発事業の充実を



稲月 敏子



質問

平群町が住民と力を合わせて開催してきた「平群平和のための戦争展」や戦争体験記の発行などは他の自治体ではあまり見られない重要な事業です。

本年は戦後77年、戦争体験者は当然減少するなか、「戦争の悲惨さや愚かさ、人々の悲しみ」「平和の大切さ」などをいかに次世代に伝えていくかが問われる年となり、さらなる平和啓発事業の充実が必要であり、さらなる事業の充実を求めます。

①本町が実施している平和啓発事業の内容や「非核平和宣言の町」宣言文や宣言日、平和や戦争に関する議会で議決した意見書、町長が実施した声明などが解るよう公式ホームページで常時閲覧

できるようにするよう。
②「平群平和のための戦争展」がさらに充実できるようにするよう。

戦争体験記・証言を聞き取り、まとめていく作業を実施するよう。

答弁

①本町の公式ホームページ平和啓発のページを常時閲覧できる方向で設けていく。

②引き続き「平群平和のための戦争展」実行委員のみなさんと協働で戦争体験記を聞き取る等を実施していきたいと考えている。



櫛原山林のメガソーラー開発について



山口 昌亮

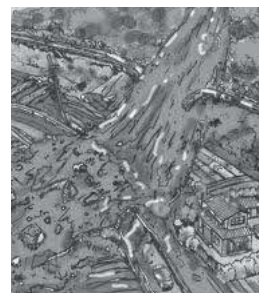


質問

①皆伐後の仮設防災施設を急ぐべき。町としてどのような働きかけをしているのか。
②事業者の開発許可変更申請の内容を把握しているのか。

③変更申請に伴う下流河川や水路の安全性について、当初申請時のような県まかせにせず、専門家を招請しても町が責任をもってチェック、指導し

④皆伐後の仮設防災施設を急ぐべき。町としてどのような働きかけをしているのか。
⑤開発許可申請の変更内容についても下流域の住民に詳細な説明をすべきだ。



答弁

①応急防災施設は相当に遅れている。下流域の安全のためにも一日も早い工事着工が優先されるべきと考えている。現在も県と事業者の間で協議中と聞いている。今後の動向を注視したい。

②9月1日に事業者が宅地造成の変更許可申請書を町に提出した。膨大な書類で、まだ掌握している段階ではない。

③町管理の下流域の水路については、町としてしっかり検証する。そのため専門家に委託することも含めて検討する。

④下流域の住民が防災上の心配をするのは当然。事業者には丁寧な説明をするよう指導する。

町 の 話 題

いきいき百歳体操交流会

総合文化センターにて開催 (R4.10.4)



当日の90歳以上の参加者、6名



当日の参加者、約80名

『へぐりいきいき百歳体操』について平群町地域包括支援センターの兼田所長さんと担当の田中さんにお話を伺って来ました。

そもそも百歳体操は高知県が発祥の地で全国に広まりました。名前の通り元気に百歳をめざそうというもので、平成28年7月に御陵苑地域から始まり、6年間で町内15地域に広がっています。「いきいき百歳体操」の体験・交流も平成29年からほぼ毎年(令和2年度はコロナで中止)実施されています。

今年は体操参加者のなかで90歳以上の方が11人とこのことで、「これからもお元気で頑張ってください!」とのセレモニーも行われました。

百歳体操はイスに座って、DVDを見ながら40分間ゆっくり腕と足を中心に動かす筋力運動。負荷をかける重り(500g等)を手や足に巻いて運動をします。

3項目の運動の効果測定もあり、運動を始めた時から3か月、6か月、1年後を測定して比較します。高知県では、なんと96歳の虚弱の女性の方が、最初は杖を頼りに歩いていたのに、週2回この体操を3か月続けると、5mを小走りで完走!すごいですね。

5人集まれば包括支援センターから指導に来ていただけます。

稲月・植田 記

お知らせ

◇議会報告会◇の中止について

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止することと決定しました。

編集後記

ウクライナへロシアが侵攻している問題。長期化が懸念されています。罪のない人たちが殺され続けており、まさに地獄とも言えます。

長期化になっている一部の原因に日本も関係しているかも知れません。ロシアから資源を買い、ロシアに軍資金ともなりえるお金を支払っているからです。

また、いつ供給が止まるかもしれない独裁国家からエネルギーを依存することは危険ということをつくづく実感しました。エネルギー資源のない日本。まさにエネルギー政策の大きな転換期ではないでしょうか。

井戸 記

